

## 東京トヨペット株式会社「板橋店」を全面建替えオープン

東京トヨペット株式会社(社長 古谷俊男)は、板橋店を全面建替えし、9月4日(金)にオープンする。

同店は1966年に開設、耐震基準はもとより、最新のテクノロジーによる環境負荷の低減と、地域にやさしい店舗をテーマに建替えた。

新店舗では、環境対応として「トヨタ自動車が開発したエネルギーマネジメントシステム」を導入。BEMS・太陽光発電・プリウスのハイブリッドバッテリーを再利用した定置型蓄電システムなどを組み合わせ、節電・創エネによるエコ化を図る。このシステムの導入は、2013年の墨田店新築で初採用して以降、2014年新築の新宿店、町田店に続き、4店舗目となった。

また、1階はピロティ形状として屋内駐車スペース10台分を設け、雨天時にも濡れずに入店できるほか、軽微な整備が可能なクイックストールも設置した。ショールームには、独立した授乳室や、世界的評価のあるポーネルンド社製キッズコーナーを設置するなど、家族連れのお客様にも安心して利用いただける。

サービス工場は、近隣が住宅地のため、2階の密閉型とし、騒音や臭気対策を施している。

その他、車両出口には、出庫灯に「音声案内」を加え、通行人への安全を強化した。

さらに、大規模災害への備えとして、既存店舗でも実施している約100人×3日分の水や保存食などの備蓄を実施。地域住民の一時避難拠点として、地域貢献にも積極的に取り組む。

なお、同店の新車販売目標は月間40台、サービス整備台数は月間約1,000台としている。

<具体的内容は以下の通り>

環境・省エネ 対応	・太陽光発電	太陽光パネル40枚(10kWh分)を屋上に設置。ショールームの消費電力を補う発電量を確保
	・蓄電システム	ハイブリッド車の使用済みハイブリッドバッテリーを再利用した定置型蓄電システムを設置
	・全照明のLED化	ショールームからサービス工場まで全ての照明をLED化
	・日照センサー	屋外の照度を感知し、ショールームの明るさを自動調整
	・BEMS	太陽光発電・蓄電システム・LED照明・省エネ空調を組み合わせ、電力の消費・蓄電を最適にコントロールして効率化する最新のエネルギーマネジメントシステムを採用 例) ショールーム・事務所の設定温度を1時間毎に既定値(夏場は28℃設定)に戻す。会議室などは1時間毎に自動でエアコンをOFFするなど、過度な冷暖房を抑制。
	・室内壁面緑化	ショールーム内に壁面緑化を採用
お客様・ 隣接する地域 対応	・店内バリアフリー	様々なお客様に安心してご利用いただけるショールームとして導入
	・トイレと分離独立した授乳室	
	・キッズコーナー	知育遊具として世界的評価のあるポーネルンド社製を導入
	・ナンバープレート認証システム	来店車両のナンバーからお客様情報を瞬時に検索、迅速かつ的確なお出迎えを実施
	・車両出口の音声案内	出庫灯に「音声案内」を加え、歩行者へ安全にお知らせ
	・密閉型サービス工場	サービス工場を建物内2階の密閉型とし、近隣への騒音・臭気を遮断
	・災害・緊急時の備え	① 約100人×3日分の水と保存食、簡易エアーマット等を備蓄し、大規模災害時の近隣住民一時受入れに対応 ② 蓄電システムにより一時的に電力(10kWh)を確保し、災害による停電時にも一時的に電力を供給 ③ AED(自動体外式除細動器)を設置

<店舗 概要>

■ 板橋店

所在地	東京都板橋区氷川町15-10
電話番号	03-3962-6111
土地・建物面積	土地：1,212㎡（約366坪） 延床：2,244㎡（約679坪）
ショールーム面積	267㎡（約80坪）
整備ストール数	一般ストール：6、完成検査ライン：1、洗車機：1
駐車場	40台（1階：10台、2階：30台）
店長	高橋 一郎
スタッフ数 （予定）	総計28名 （店長1名、副店長1名、工場長1名、 新車営業スタッフ9名、サービススタッフ8名、 アドバイザー3名、他5名）
定休日	火曜日

なお、9月5日（土）～21日（月）にオープニングイベントを実施する。



< 板橋店 外観写真 >

※店舗1階は大型ピロティ（駐車スペース10台）



< 板橋店 2階写真 >

※サービス工場と同フロアに設置した  
2段式の駐車スペース

以上

**東京トヨペット株式会社**

<http://www.tokyo-toyopet.co.jp>

ご取材の問い合わせ：夢づくり推進部広報グループ 伊藤、阿部

tel 03-6414-5002 fax 03-6414-5088